

令和7年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立生涯学習センター
施設所管課・担当	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習担当
条例上の設置目的	市民の生涯にわたる学習活動を支援し、生涯学習の振興を図ることにより、市民の文化と教養を高め、市民生活の向上に寄与することを目的とする。
業務の概要	(1) 生涯学習事業に関する業務 (2) 生涯学習センターの使用許可に関する業務 (3) 建物及び附属設備の維持保全に関する業務 (4) 施設の総合管理に関する業務 (5) 安全確保に関する業務
成果指標	貸室利用者満足度／事業参加者満足度／貸室利用率
数値目標	貸室利用者満足度：80%以上／事業参加者満足度：80%以上／貸室利用率：3館平均70%以上
指定管理者名	一般財団法人大阪教育文化振興財団
指定期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	貸室利用者満足度	事業参加者満足度	貸室利用率
数値目標	80%以上	80%以上	3館平均70%以上
年度実績	97.9%	93.0%	3館平均69.4%
達成率	122.4%	116.3%	99.1%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	461,431	444,678	16,753
稼働率	69.4%	67.5%	1.9%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	171,478,948	155,485,735	0	令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類に移行され、少しずつ利用者が戻ってきてはいるものの、施設利用率が目標値に達しておらず、利用料金収入が減となり計画額より不足となっている。
	計画	171,478,948	131,471,360		
利用料金収入	実績	135,728,560	130,595,600	▲ 2,246,440	
	計画	137,975,000	162,861,100		
自主事業収入	実績	36,057,973	37,004,693	3,289,253	自主事業数の拡充
	計画	32,768,720	35,184,200		
合計	実績	343,265,481	323,086,028	1,042,813	
	計画	342,222,668	329,516,660		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	169,060,966	177,877,694	▲ 25,924,154	超過勤務労働時間の削減による人件費の削減
	計画	194,985,120	178,099,460		
物件費	実績	85,564,429	85,564,429	▲ 3,893,152	外部委託の削減
	計画	89,457,581	91,441,340		
修繕費	実績	2,622,785	1,155,134	▲ 1,077,215	
	計画	3,700,000	3,613,000		
自主事業支出	実績	21,963,980	25,710,978	▲ 1,004,836	
	計画	22,968,816	26,406,800		
その他支出	実績	49,517,686	44,414,770	18,406,535	
	計画	31,111,151	29,956,060		
合計	実績	328,729,846	334,723,005	▲ 13,492,822	
	計画	342,222,668	329,516,660		

令和7年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
貸室利用者満足度80%以上	122.4%	S	貸室利用者アンケートにおいて、施設利用の満足度に関する設問に「満足」「おおむね満足」と回答した割合は合わせて97.8%
事業参加者満足度80%以上	116.3%	A	事業参加者アンケートにおいて、事業の満足度に関する設問に「大変良かった」「良かった」と回答した割合は合わせて93.0%
貸室利用率：各館70%以上	99.1%	B	コロナの影響により利用率が減少し、3館平均年間利用率は69.4%で、成果指標70%には達しなかったが、SNS等を活用した戦略的な広報等により令和6年度より1.9ポイント上昇した。

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・超過勤務労働時間の削減による人件費の削減 ・職員のスキルの向上による外部委託の削減	B	本業務に対するノウハウの蓄積や専門性を持つ職員の強みを活かして、効果的・効率的に実施した。

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	職員の対応に関する貸室利用者アンケートでは、職員の対応は「良い」「おおむね良い」が合わせて98.6%となり、適切に管理・運営を行ったことがアンケート結果に表れている。
事業計画の実施状況	B	事業計画書や協定書に基づく事業を着実に実施するとともに、より幅広い層の利用促進に向け、広報活動やイベント等を積極的に実施した。
施設の有効利用	S	多様な主体との連携事業を21団体と展開し、それぞれの専門性や地域資源を生かした質の高い学習機会を提供し、新たな学びやこれまで利用の少ない層の開拓にもつなげている。
社会的責任・市の施策との整合性	B	日本語を母語としない利用者の学習相談件数の増加に伴い、「やさしい日本語」をテーマにした研修を学習センターの全職員を対象にして実施した。

5 利用者ニーズ・満足度等

【利用者ニーズ・満足度等の把握】
・貸室利用者アンケート：11月に館ごとに実施。（各館の有効回答数： 総合：343、阿倍野：157、難波：163 計663）
事業参加者アンケート：事業ごとに実施。（各館の有効回答数 3館合計10,822）
・貸室利用者アンケートでは、施設利用の満足度は「満足」「おおむね満足」が合わせて97.9%、事業参加者アンケートでは、事業の満足度は「大変良かった」「良かった」が合わせて93.0%と、顧客満足度の高い安定的なサービスが提供されている。

6 外部専門家意見

・事業計画そのものが多様性や包摂性といった「生涯学習大阪計画」の特徴をよく理解した上でつくられており非常に質が高く、その計画に基づき幅広い事業を専門性の高い精鋭人員で実施していることは高く評価する。
・多くの事業を運営しており利用者の満足度は非常に高く、収支も適切に運営されている。SNSの活用など広報を工夫することにより、若年層や現役世代等の新たな利用者の増加につながりたい。また、利用率向上に向けても引き続き取り組んでいただきたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	貸室利用者、事業参加者満足度とも目標を大きく上回り、評価できる。貸室利用率については、コロナ禍以降の行動変容の影響がみられるが、若年層や現役世代等の新たな利用者層の拡大に向けた取組を進めており、より効果的な広報や自主事業の推進を期待する。
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	A	長年蓄積してきた知見を活かして非常に多種多様な事業を計画・実施し、結果として利用者の高い満足度につながった。 また、コロナ禍からの利用率の向上をめざして、「はじめま専科」などの自主事業や、紙媒体のほかホームページやSNSを活用する等、幅広い層に向けた広報活動にも力を入れていることは高く評価できる。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	A	「生涯学習大阪計画」を具現化する事業を数多く企画運営しており、利用者満足度も高い評価を獲得していることから、本市が求める水準を上回っていると評価する。 今後も引き続き、生涯学習施策推進の一翼を担うべく、多彩な事業を運営されることを期待する。